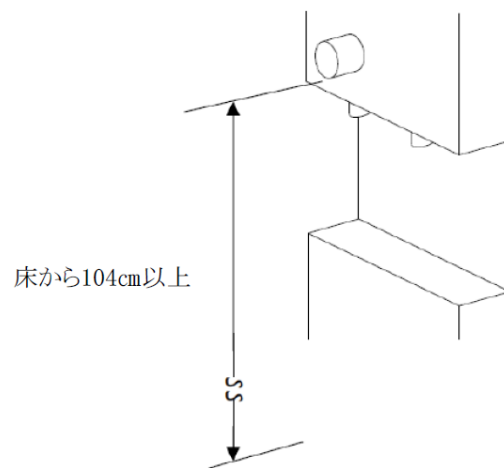


## 付属書B

この付属書は、ウォーターサーバーのデザインが多様化されてきている状況を考慮し、操作ボタン位置の高さに関する新たな基準の規定及び温水コックボディの緩み(5.1.6)について組み立て時に作業が困難なことや温水コックボディ本体の耐久性が懸念される為、基準値を新たに規定する。

## 5.1.5\_1 操作ボタンの高さ (位置)

注水ボタンや解除ボタンの位置(ボタンの下部位置)を床から104cm以上の高さに設置することで操作ボタンや解除ボタンの視認性に関係無く、乳幼児が注水ボタンや解除ボタンに触れることが困難な為、乳幼児火傷対策には有効である。但し、操作ボタンの高さだけで乳幼児の火傷対策の有効性を確保するのでは無く、注水操作を有効化する為の方法を別途(補足参照)設けなければならない。



(補足)

- 5.1.5\_1 で示す構造を満たした場合でも、乳幼児の火傷対策の効力を更に高めることが期待できる 5.1.2 表 4 ③~⑫などの構造を設けること。

(参考)

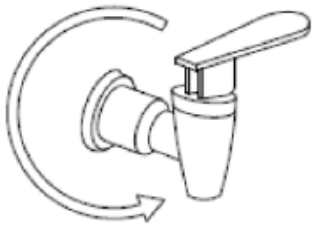
	満1歳児	
	最小値	最大値
身長 (cm)	71.2cm	84.3cm
到達高 (cm)	80.0cm	104.0cm

※ 最大到達高 (cm) は、背伸びして腕を上伸ばして届く高さを測定

※ 「ウォーターサーバーのチャイルドロックに関する事故防止策の検討及び取りまとめ」より抜粋

### 5.1.6\_1 温水コックボディの緩み

- 手動式は, コックのボディが緩まないこと。
- ボディがねじ込み式の場合, ボディが緩むひねり力が 5.1.6 表 8-1 の基準値を満たしていること。

	操作	基準値	測定方法
ボディを回す		0.9N・m 以下で 緩まない こと	7.1.2 試験方法 (2) 試験手順 (2.8) 測定方法

5.1.6 表 8-1